

# 雑感

和氣加太志



(まちづくりの進む田中野田に思う)

田中野田地区にも、都市化の波が急速に押し寄せてきている昨今であります。今や区画整理は進み、五十米道路も現実のものとなり、誰もが予想だにしなかった変容ぶりであります。

私どもが幼い頃から慣れ親しんできた用水路は田畑となり、田畑は道路や住宅に化してきています。かつてのい草や稲穂の波打つこの里は、一変してその面影を消失しつつあります。いかに時代の流れとはいえ、いまだかつて経験したことのない変化のすざましさに、驚異の目を見張っているのは私一人でしょうか。何百年、何千年の長い年月の間、私どもの祖先が築き育ててきたあののどかな自然環境が、今一瞬にして消え去ろうとしていることは、この地に生きてきた者にとって、極めて感慨深いものがあります。一抹の寂しさを覚える今日のごろであります。

しかし、建設の槌音は、明日に向かって一日の休みもなく足元に響いています。私どもは、変わりゆく現実の姿に接し、今どうしなければならぬか、これからどうすべきか、いろいろな角度から公私共に解決を迫られている時期であります。過去があって現在、未来があるわけでありますから、古きを忍び、訪ねることも有意義なことであり、その記憶も大切に保存していくことも私どもの勤めでありますが、いたずらに過去にこだわることなく、常に進取の心をもって、未来に大きく羽ばたく姿勢が何より大切ではないかと思えます。西小学校の分離も近いと聞いております。学区にかかわる問題等、幾多の解決すべき課題が山積しています。新しくこの地において下さった方々を温かくお迎えし、お互いに共存共栄の心をもって、老若男女相携えてこれからの課題を解決していき、明るい住みよい町づくりを進めていきたいものだと思います。憂いを後生に残さないためにも、古きを訪ねて新しきを知る心を心として、今を生きる私どもに課せられた使命を自覚し、最善の努力をしてまいりたいものであります。

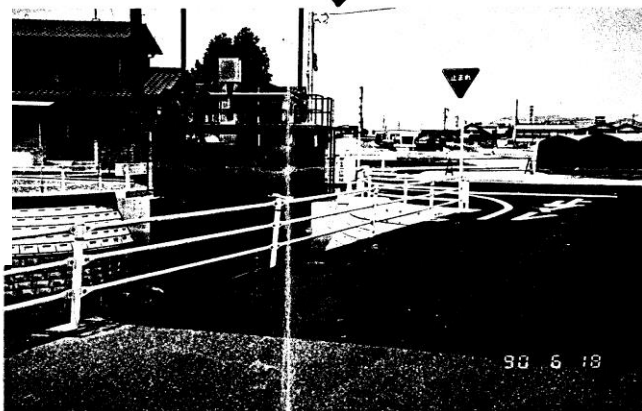
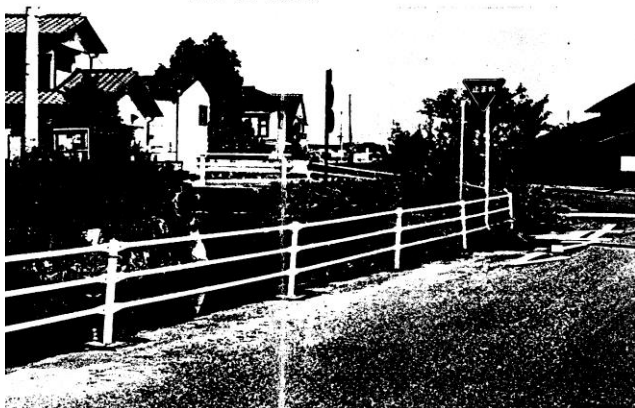


うしろの用水路の畔に、お茶屋があります。

入用の前にお茶を飲んでください。お茶屋の主人

## 区画整理で変貌する田中野田

田中水門附近



新橋(しんばし)西より御南中を望む



### 編集後記

「ふれあい新聞」15号をお届けします。ただし、今回は都合によってワープロへの入力、植田さん・濃野さん私と初心者との合作のため、体裁がなっていませんがお許しください。

この紙面で和氣加太志さんからの随筆にもありますように「田中野田」が区画整理で大きく変貌しています。この姿をと思って写真を載せてみたのです。しかし、残念ながら古き良き写真がなく、見ごたえのないかっこうになっています。この際思うのですが、区画整理前の地域の写真がありましたら、大切に保存しておいて下さい。いつの日か、郷土の今昔写真集がつくられることを期待しています。なお、私の「郷土を語る」の記事はちよつと休ませていただきます。

酷暑の陣り、皆さまご自愛のほどを。(中尾)